

研究区分	学部研究推進
------	--------

研究テーマ	コンケン大学看護学部および米国他大学の国際交流に関する研究				
研究組織	代表者	所属・職名	看護学部・教授・学部長	氏名	山下 早苗
	研究分担者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	竹熊 カツマタ 麻子
		所属・職名	看護学部・講師	氏名	根岸 まゆみ
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	竹熊 カツマタ 麻子

講演題目
海外の学術集会・協定校での活動報告および海外看護系大学との協定締結に向けた活動報告
研究の目的、成果及び今後の展望
<p>【研究の目的】①過去5年に及ぶ本学部でのグローバル教育（COIL授業含む）の取組みを国際看護師協会学術集会（ICN 2023）で発表する。②令和5年度開講の4年生選択科目「国際保健・看護実習」を実施する。③ベルギーのArtevelde大学と学部間協定を結ぶ。④モンゴルにおける国際保健・看護実習の受け入れ施設等の視察および大学（ドルノゴビ医科大学）と協定を結ぶ。</p> <p>【成果】①2023年7月2～4日に実施されたICN 2023学術集会にて、本学部のグローバル教育の実践報告を発表した。会場では多くの質問・意見があり、本学部の取組みを海外の看護教育研究者と共有することができた。②同年8月21日～9月1日の期間、本学部4年生4名がタイ国立コンケン大学看護学部にて実習を行なった。10月3日には同大学看護学部教員と根岸が協働でCOIL授業を開催し、コンケン大学看護学部の学生と同大学で実習した本学部生4名が交流・学習する機会を設けた。③竹熊が2022年12月より本学部と交流のあるArtevelde大学を視察し学部間協定の合意を得2024年度に学部間協定締結の予定である。⑤モンゴル国との交流については5月にドルノゴビ医科大学より学長と看護学科の教員2名が本学を訪問、教育と学術の協定への提案を受け、学部間協定を結ぶ合意をし、9月に竹熊、荒井が学部生2名とモンゴル国医科大学(ウランバートル)とドルノゴビ医科大学を訪問した。9月にドルノゴビ医科大学、10月にモンゴル国医科大学看護学部と部局間協定の締結に至った。竹熊と荒井は10月にウランバートルのモンゴル国医科大学看護学部において、研究科の看護管理・リーダーシップの講義、学部での基礎看護技術の授業も行ない、教育交流も行なった。⑥2024年の1月には韓国の慶熙大学看護学部からジョン・ヨンヒ一学部長とイム・ヨジン副学長が看護学部を訪問、学部間協定について提案があり、学部間協定について合意した。2024年度に協定締結の予定である。</p> <p>【今後の展望】</p> <p>2023年度はポストコロナの環境で国際交流が活発化、看護学部も学部間協定を軸に学生、教員を含む交流が前進した。2024年はタイのコンケン大学から学部生の短期留学を受け入れ、本学からも4名の学生を国際実習に出す予定である。モンゴル国との交流は、静岡県友好県であるドルノゴビ県との交流を追い風に、教育と研究、臨床実践の領域で協同プロジェクトを進めていく予定となっている。7月には米国イリノイ州の聖アンソニー看護大学との学術・教育・臨床交流を推進するため、4名の教員が研修に参加する予定である。今後も静岡県に貢献するグローバル人材を養成するために活発な国際交流活動を推進していく予定である。</p>